

『二松学舎大学国際政経論集』寄稿要領

1. 寄稿資格

寄稿者は、原則として本学国際政治経済学部専任教員または非常勤講師とする。

なお、寄稿者の共著者についてはこの限りではない。

2. 応募原稿の審査

応募原稿（以下、原稿）については、編集委員会で審査のうえ、掲載の可否を決定する。

3. 原稿

原稿は未公開のものに限る。原稿は、校正時に大幅な加筆・書き換えを必要としないものでなければならない。

原稿は、「論説」、「資料」（研究ノート、判例批評等）、および「紹介」（書評等）の三種とする。

原稿はA4版とし、邦文の場合は原則30枚（30字×33行程度）以内、欧文の場合は原則45枚（65ストローク×25行程度、ダブルスペース）以内を基準とする（図版等を含む）。

注は原則として通し番号を付して全文の末尾に一括する。

表題には英文表記を付記し、姓名に欧文表記を添える。

原稿は、ワード及びPDFのデータをガルーンまたはeメールにて別紙寄稿要領アドレスに提出すること。

投稿は1本を原則とする。

4. 締め切りと提出先

原稿の締め切りは毎年11月末日とする。

提出先は、本学学生支援課（寄稿要領のアドレス）とする。

5. 校正等

執筆者による校正は、原則として再校までとする。大幅な加筆・訂正等により加算される印刷費は、執筆者の負担とする。

執筆者の責任により校正が所定の期限を越えて遅滞し、発行に支障をきたすことが予想される場合には、編集委員会の権限により掲載を中止することがある。

6. 抜刷等

掲載論文の執筆者に対しては、抜刷50部を贈呈する。抜刷の追加部数を希望する場合には、初校原稿返送の際に所要部数を記入する。抜刷追加部数の実費は執筆者本人の負担とする。

付記

本学は、国立情報学研究所の「学術論文電子化事業」に参加している。よって本誌掲載論文等を電子化し公表するため同学研究所に提供する。

(1994年2月9日)

(1999年6月17日、一部改正)

(2007年7月7日、一部改正)

(2011年7月13日、一部改正)

(2012年6月24日、一部改正)

(2015年5月27日、一部改正)

(2016年6月1日、一部改正)

(2017年6月6日、一部改正)

(2020年12月24日、一部改正)